令和5年度 生瀬中学校グランドデザイン

┅ <本県教育の目標>

- ┇○ ひとりひとりの能力を開発し
 - 豊かな人間性をつちかう
- 〇 じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 〇 郷土を愛し協力しあう心を育てる

茨城県総合計画 茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本-子どもを産み育てやすい県を目指す (茨城県教育大綱)

学校教育指導の方針 すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

<大子町の教育目標>

i 個性と生きがいを育む教育・豊かな自然を愛し心のふれあう教育 i

本校の教育目標	進んで学び,心身ともにたくましく、思いやりのある生徒の育成
学校経営の基本理念	望ましい集団づくりを通し 『夢、笑顔、感動』 を育む活力 ある学校
学 校 経 営 方 針	① 学び合う楽しさを実感する授業と確かな学力の定着 ② さわやかで心なごむ安全安心な教育環境づくりの推進 ③ 温かな人間関係づくりの推進 ④ 資質・能力の向上をめざした教職員研修の充実 ⑤ 全職員の共通理解に基づいた指導・相談体制の整備 ⑥ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導体制の充実 ⑦ 学校・家庭・地域に開かれた学校の創造

≪めざす学校像≫

夢・笑顔・感動

- ◇信頼し合う温かい学校
- ◇生徒が進んで活動する学校
- !◇地域・家庭と連携・協働した学校!
- ◇教職員がやりがい・生きがいを もてる学校

≪めざす生徒像≫

(な)か良く 思いやりのある生徒 (博愛)

(ま)じめに 進んで学習する生徒

(勤勉)

(世)・一杯 夢や目標に努力する生徒 (正義) ≪めざす教職員像≫ 情熱・力量・人間力

- ◇生徒の心の声が聞こえる教職員 ◇日々研鑽に励み魅力ある授業を 実践する教職員(昨年度の教育 活動 プラス1)
- ◇温かさと厳しさのある教職員

組 織

目 標 生徒が「自分で決める」 機会をつくる しかけ まかせ ほめる

生瀬中でなければできない教育の推進プロジェク -ル 1 【 夢(知育) 1 【 笑顔(徳育) 1 【 感動(体育) 夢の実現に向け、学ぶ意欲の向上と自 <mark>笑顔で生活できる人間関係づくりの推進と</mark> 感動体験の充実による、たくましく生 目 己のよさの伸長 規範意識や思いやりの心の育成 きる力の育成 標 ①学校生活全体を通した体力向上の ①進んで学習に取り組む生徒の育成 ①相互理解と協働する場の設定(人 間関係づくりの推進) ・生徒の自己調整力の向上(導入・終末 推准 2つの振り返りの活用) 縦割りチームにおける異学年交流 体力テスト(A+B):70% ・課題の明確化と伝え合う場の設定 ・子どもとふれあう時間の確保 A級合格者数:10名 ②学級経営や生徒会活動の充実 (規 ・以前より学ぶ力が向上した生徒:70% 部活動練習への参加率:100% 内 ②個別最適な学びを実現する授業 範意識の醸成) ②自他の健康安全に対する実践力 の展開 当たり前のことを当たり前にできる生徒 ・生徒の振り返りを活用した授業づくり の育成 を育成し、自己管理能力の向上 (指導の個別化) ・係や委員会活動における一人一人の責任 ・自力登校の奨励 ・個に応じた学習課題の設定(学習の個 ・登下校中の事故: 0件 の遂行 容 生徒主体の学校行事の計画と運営 食物アレルギー事故: 0件 別化・ICTの活用) ③いじめのない互いに認め合える ・食育指導の推進(給食残量の減少) ・授業内容が分かった生徒:70% 集団づくり(思いやりの心を育 ③規則正しい生活習慣を育てる指 ③家庭学習の質の向上と読書の推進 導の充実 てる) • 家庭学習提出率: 80% ・生活記録を活用した家庭学習の推進 ・自己有用感の醸成とほめる指導の実践 • 朝食摂取: 100% • 虫歯治療率: 100% • 年間30冊以上読破: 30% ・定期、随時の教育相談の実施

- ① 小中の連携
 - ・小中連絡協議会、生瀬地区学校運営協議会の 開催
- 信頼される学校づくり
- ・情報の発信(各種たより、ポータルサイト等の活用) ・地域で先に進んであいさつができる生徒の育成 ③ 評価と活用(義務教育9年間を見通した指導) ・各種評価アンケート(教育課程、学校関係者等)
 - の分析と改善に向けての対応

- 教職員の育成(指導力・人間力の向上) ◑
 - 学校運営構想にもとづく協働による人財育成 一人にならない 一人にしない チーム生瀬中
- 服務規律の確保
 - ・ボトムアップ研修と風通しのよい職場環境作り 「できない」を大切にできる職場
- 働き方改革の推進
 - · ICT, クラウド及び校務支援システムの有効活用
- 複数顧問交代制の徹底と教えない指導の充実